

2012 年 11 月 21 日
ミネベア株式会社

<プレスリリース>

「日産リーフ」走行モーター向け高性能 VR 型レゾルバを開発、納入開始

ミネベア株式会社（以下、ミネベア）は、日産自動車株式会社（以下、日産自動車）の 100%ゼロ・エミッション電気自動車（EV）「日産リーフ」※¹ 走行モーター向けに「高性能 VR 型レゾルバ（回転角センサー）」※²を開発し、このほど日産自動車横浜工場に納入を開始しました。

VR 型レゾルバは、走行モーターの回転を正確に制御するために欠かせない角度センサーで、電気自動車（EV）やハイブリッド自動車（HV）の電力消費率や走行性能に大きな影響を与える基幹部品です。

ミネベアは、「日産リーフ」向けに最も適した VR 型レゾルバの開発を目指し、様々な磁場解析技術を駆使したシミュレーション及び改良を重ねてまいりました。その結果、「日産リーフ」走行モーターの特性向上に貢献できる理想的な巻き線仕様とローター・ステーター形状を持つ高性能 VR 型レゾルバの開発に成功しました。

ミネベアでは、このほどタイ・バンパイン工場に「日産リーフ」向け専用生産ラインを新設しており、万全な供給体制を整えております。ミネベアは、今後も順次生産ラインの増設を計画しており、将来にわたって安定した供給体制を整えてまいります。



「日産リーフ」新モデル
（画像：日産自動車提供）



VR 型レゾルバ

※1 「日産リーフ」：

2010年12月に日産自動車から発売された走行中にCO₂をまったく排出しない100%ゼロ・エミッションの電気自動車（EV）です。

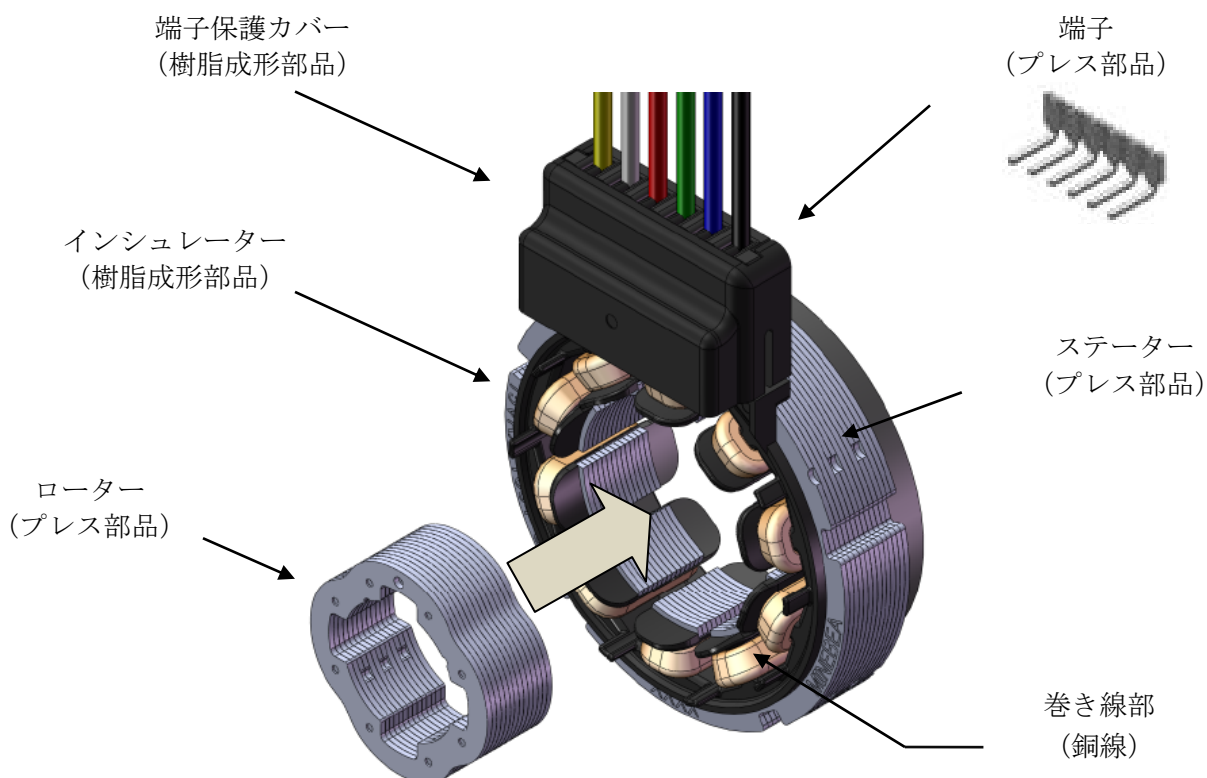
※2 VR 型レゾルバ（回転角センサー）：

VR 型レゾルバ（バリアブルリタクタンス型レゾルバ）は、モーターの磁極位置を検出し常に最適なトルクを出力する為に用いられる高精度で高分解能な位置検出が可能な角度センサーです。ステーター（入力コイル、2相の出力コイル）と、積層鋼板のみのローターで構成されているシンプルな構造で、耐熱性・耐油性に優れている点が特長です。近年、モーターの動きを細かく制御する必要があるハイブリッド自動車／電気自動車（HEV/EV）向けに需要が急拡大しています。

【VR 型レゾルバの生産体制について】

ミネベアは、長年にわたって小型モーターの製造を国内外の工場で行ってまいりました。これまでに培ってきた巻き線技術と高精度な部品の内製技術を用いて、2003年からタイ・バンパイン工場でステアリングトルクセンサー用ツインブラシレスレゾルバの製造を開始しました。その後、2008年から EPS モーター用回転角センサーとして VR 型レゾルバの生産を開始しており、現在では EPS モーターのみならず ISG モーターやハイブリッド／電気自動車（HEV/EV）向けに納入を開始しています。

（ご参考）VR 型レゾルバの構成部品



■ 報道関係お問い合わせ先

： ミネベア株式会社 広報室

TEL 03-5434-8637 FAX 03-5434-8607